

JX60(ハードディスクキャビネット) ご使用上の留意・注意事項

JX60(ハードディスクキャビネット)に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2014年06月
富士通株式会社

1. OS のログについて

高負荷時に、Windows のシステムログに ID:129 または、ID:153 の警告ログが記録されることがあります。このログは、ハードディスクへの処理がタイムアウト期間内に終了しなかった場合に再試行されたことを示すものです。エラーではありませんのでそのままご使用いただいて問題ありません。

2. SAS アレイコントローラカードの設定について

アレイ構築を行う前にハードディスクのスピンドウンモード設定[注]を無効にしてください。ハードディスクがスピンドウンされている状態でアレイ構築を行うと、SAS アレイコントローラの動作が停止し、無応答になる場合があります。その場合は、サーバを再起動し、再度アレイ構築を行ってください。

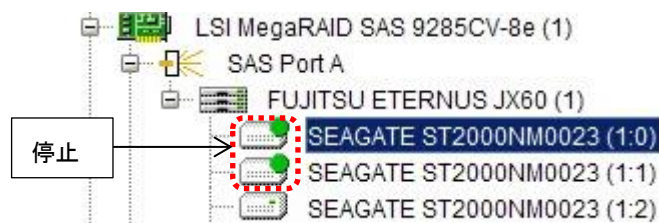
[注] 初期設定は、有効になっています。設定変更は以下の手順に従ってください。

ServerView RAID Manager で設定する場合

- (1) ServerView RAID Manager を起動し、対象の SAS アレイコントローラカードを選択します。
- (2) 設定タブをクリックします。
- (3) メニュー右側のスクロールバーにより画面を下方に移動し、「電源管理」の「編集」ボタンをクリックします。
- (4) 編集ウィンドウで「非構成ディスクのスピンドウン」および「ホットスペアのスピンドウン」を無効に変更し、「OK」ボタンをクリックします。
- (5) 設定変更ウィンドウで「適用」ボタンをクリックします。
- (6) 全てのハードディスクの「電源の状態」が停止になっていないことを確認します。

※停止している場合、メニュー左側のハードディスクのアイコンに緑色の丸いマークが表示されます。

この場合は、サーバを再起動してから、次の手順に進んでください。



- (7) アレイ構築を行います。
- (8) アレイ構築後、スピンドウンモードを元の設定に戻してください。

WebBIOS で設定する場合

- (1) WebBIOS を起動し (POST 中に Ctrl+H キーを押下)、対象の SAS アレイコントローラカードを選択します。
- (2) 「Controller Properties」をクリックします。
- (3) 「Next」ボタンを 2 回クリックします。
- (4) 「Properties」メニューの「Spin Down Delay Time」を 1440 に変更 (初期値は 30) し、「Submit」ボタンをクリックします。
- (5) サーバを再起動します。
- (6) WebBIOS を起動して、アレイ構築を行います。
※アレイ構築前に WebBIOS を起動したまま放置しないでください。
- (7) アレイ構築後、「Spin Down Delay Time」を元の値に戻してください。

3. リビルド中の LED 表示について

SAS アレイコントローラカード (PY-SR3PR2/PYBSR3PR2/PYBSR3PR2L) と接続している場合、ハードディスクがリビルド中は、ドライブアクセス状態表示パネルの Slot No.LED が橙色で点滅しません。ハードディスクがアクセス状態を示す緑色の点滅となります。[注] ハードディスクの状態は、ServerView RAID Manager により確認可能です。

[注] 『JX60(ハードディスクキャビネット)ユーザズガイド』では、橙点滅と記載しています。

4. ServerView RAID Manager について

ServerView RAID Manager は、必ず V5.8.8 以降を使用してください。

最新版の ServerView RAID Manager については、PRIMERGY ホームページの「[ダウンロード](#)」より入手してください。

— 以上 —

Copyright 2014 FUJITSU LIMITED